

# 家庭学習の充実を一步先へ！！

## ～井原市立井原中学校の取組～



家庭学習の充実に向けて、各学校で様々な取組が行われています。今号では、**1人1台端末を活用しながら、組織的に家庭学習と授業の連動**を目指し、一步先の取組を進めている井原市立井原中学校の実践を紹介します。

### 井原中学校における1人1台端末の授業活用STEP目標

#### Step.1 とにかく使ってみる (授業の一部を代替)

- ・小テスト、課題の配信
- ・教材提示、授業記録 など



#### Step.2 対話的な学び 協働的な学び

- ・協働で意見整理
- ・相互評価 など



#### Step.3 協働的な学び 個別最適化された学び

- ・個に応じた学び
- ・動画を使った反転授業 など



#### Step.4 空間を超えた学び

- ・協働編集による家庭学習
- ・学校の壁を越えた学習 など



4段階のSTEPを設定し、全ての教員がICT機器を活用した授業づくりに取り組み、**全ての教科で生徒がICT機器の活用を選択できること**を目指しています。



### 数学科の取組例：Step.4 空間を超えた学び～協働編集による家庭学習～

宿題：瀬川先生が作る小テストを攻略するための、**テスト対策参考スライド**を4人で分担して作りましょう。  
(条件：スライド2枚以内。分かりやすく。班で分担する。範囲は「一次関数と式とグラフの変化」)

#### ①オンラインで授業の振り返りを共有し、ポイントを確認する。

一次関数のグラフは、切片を通る直線です。式は、 $y=ax+b$ です。



4人が共通して書いている内容は、特に大切なようだ…

私は気付かなかったけど、〇〇さんの内容は参考になるな…



- ・二元一次方程式とは、二つの文字がある方程式。
- ・間違いを減らす方法は…

#### ②協働編集を行う。

※ 下図は、生徒が作成したスライドのイメージ。

○テストに向けて「一次関数の範囲で、重要な語句をまとめよう」(NO.1)

式  $y=ax+b$

ex.  $y=4x+2$   $y=3$   $y=3x-7$



分担



$2x+6=y$ のときは、等式の変形を使って、 $y=ax+b$ の形に直して計算する。

#### ③授業で小テストを行う。

スライドにまとめた内容が出題されている!



前回よりも上手く大切なポイントをまとめていたね。



頑張ってよかった!



### 数学科の瀬川教諭と研究主任の齋藤指導教諭にインタビューをしました!



数学科 瀬川 教諭

#### Q.1 家庭学習の充実に向けて、どのようなことを意識していますか?

生徒が「やって楽しい!」と感じて、モチベーション(内的動機付け)が上がるような課題を出すように心掛けています。具体的には、協働編集の他に解説動画を作成する家庭学習も行いました。点検時には、意識的に生徒の**頑張りや工夫を認めて励ます**ようにしています。

#### Q.2 協働編集や解説動画の作成を通して、生徒はどのように成長しましたか?

数学に苦手意識があった生徒が、友だちと協力して家庭学習を行うようになりました。また、数学の問題が「ただ解ける」だけでなく、「**解き方を説明できる**」生徒が増えたと感じています。

#### Q.3 組織的な取組とするために、どのような工夫をしましたか?

今年度、外部講師を招いて「1人1台端末の効果的な活用」「反転学習のよさ」などについて、校内研修を実施しました。何のために家庭学習と授業を連動させるかという**目的を共通理解すること**を大切にしました。

#### Q.4 組織的な取組を行って、良かったことはありますか?

教員間で「**どんな家庭学習がいいかな?**」と相談したり、若手の先生が先輩教員の取組を参考にしたりする姿が見られるようになりました。教員が「わくわく感」をもって、楽しい家庭学習を考えています。



研究主任 齋藤 指導教諭